



# ●三原が生んだ孤高の画人●


## 秦森康屯


はたもりこうとん


て。 アヤメちゃん、こんにちわ。この写真を見てみて。




 この人は、絵を描いているのですか？

 そうだよ。この人は、小坂町出身の秦森康屯（本名：晃）さんという、有名な画家だよ。


 いつごろから絵を描くようになったの？

 中学校の時から絵を描くのが大好きで、画家の道をめざして26歳で東京に行って絵の勉強に励んだんだ。


 どんな絵を描いていたの？




▲抽象画「人々」(昭和31年、西宮市大谷記念美術館所蔵)


 若いころは、抽象画といわれる、物の形を描か


ないで、自由な形や色を組み合わせた絵だったよ。ちよつと難しいかな。

 難しいなあ。でもなんとなく。それから？

 31歳で賞に初入選し、次々と賞をもらったんだ。44歳で新しい絵の勉強のためにヨーロッパへ行って、各地をスケッチして回ったんだよ。


 ヨーロッパで勉強した後、何か変わったの？

 このころから風景、人物、動物を主に描くようになり、具象画という、見たままの形を描くようになったんだよ。

 そうなんだ。康屯さんの絵をもっと見たいなあ。



▲具象画「阿蘇」(昭和41年、個人所蔵)

 今月の23日(日)まで、リージョンプラザで秦森康屯展が行われているから、一緒に見に行こう。期間中は、市内のお店や公共施設でも作品を見ることができるとだ。

(関連4・5ページ)